

富安 由真

Yuma Tomiyasu



影にのぞむ

In Presence of Shadows

2023年

7月8日[土]—9月24日[日]

原爆の図 丸木美術館

Maruki Gallery For The Hiroshima Panels



私の母方の祖父母は、広島原爆の爆心地から 1.5 km のところで被爆しました。祖母は生前、一度だけ私にその体験を話してくれたことがあります。皮膚が剥がれ落ちた腕を、幽霊のように前に掲げながらぞろぞろと歩く人々。助けてくれと言われたけど、どうしようもなく助けられず、自身も死に物狂いで逃げたこと。祖母は、泣きながらその時の話をしてくれ、その内容の悲惨さ、凄惨さに、強い衝撃を受けたのをよく覚えています。

祖母の人生に思いを巡らせる時、広島原爆は私にとっては切り離せないものでした。自分が被爆 3 世であることから、いつか広島原爆に向き合った作品を作りたいとずっと胸に秘めていましたが、今回光栄なことにその機会を得ることが出来ました。原爆は今後も向き合っていくテーマではありますが、今最良だと思える形で発表したいと考えています。

制作は、実際に被爆者の方にお会いし、お話を伺うところから始めました。私の制作スタイルの中では珍しくリサーチベースで行いながらも、より普遍的な表現を模索したいと考えています。被爆者の方々は既にご高齢で、その体験を直に後世に伝えられる場が減ってきていることに強い危機感を感じます。一方で、私はその思いを、語られる「言葉」という形だけでなく、違う形で伝える力が芸術にはあるとも信じています。

2023 年は第二次世界大戦が終わって 78 年目の年となりますが、今なお世界では戦争が無くなりません。この作品が人間の悲しみや苦しみに今一度目を向け、平和への思いを強くするものになればと願います。

富安 由真

協賛：アクセントアーツ部  タグチアートコレクション   
協力：株式会社アートフロントギャラリー

富安 由真 とみやす・ゆま

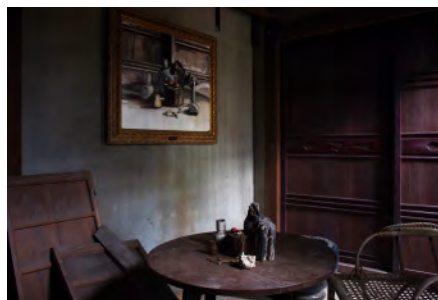
1983 年広島県生まれ。2005 年に渡英し、ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ、ファインアート科にて学部と修士を学ぶ。2012 年に帰国。2017 年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻修了、博士号取得。現実と非現実の狭間をモチーフに、見えないものや不確かな存在への知覚を鑑賞者に想起させる作品を、没入型のインスタレーションや絵画、立体など多様なメディアを横断しながら、数多く発表する。主な展覧会に「瀬戸内国際芸術祭 2022」(豊島/2022)、個展「アベルト 15 富安由真 The Pale Horse」(金沢 21 世紀美術館 /2021-22)、個展「漂泊する幻影」(KAAT 神奈川芸術劇場 /2021)、個展「第 12 回 shiseido art egg：富安由真展 くりかえしみるゆめ Obsessed With Dreams」(資生堂ギャラリー /2018)、個展「guest room 002 富安由真：(不) 在の部屋——隠れるものたちの気配」(北九州市立美術館 /2018) など。主な受賞歴に第 21 回岡本太郎現代芸術賞 特別賞受賞(2018 年) など。



## 関連イベント

7月8日(土) 午後2時 オープニングトーク 参加自由(要入館料)

その他会期中に随時ギャラリートークを開催予定、詳細はウェブサイトをご確認ください



【左上】《かげたちのみる夢 Remains of Shadowings》2022、「瀬戸内国際芸術祭 2022」展示風景、豊島甲生地区、香川 【右上】《Unison\_Circle》2022、「ATAMI ART GRANT 2022」展示風景、ACAO SPA & RESORT、静岡(撮影：Naoki Takehisa) 【左中】《The Pale Horse 蒼ざめた馬》2021、個展「アベルト 15 富安由真 The Pale Horse」展示風景、金沢 21 世紀美術館、石川(撮影：野口浩史) 【右中】《The Doom》2021、個展「The Doom」展示風景、アートフロントギャラリー、東京(撮影：西野正将) 【左下】《漂泊する幻影》2021、個展「KAAT EXHIBITION 2020 富安由真展」展示風景、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川(撮影：西野正将) 【右下】《くりかえしみるゆめ Obsessed With Dreams》2018、個展「第 12 回 shiseido art egg：富安由真展 くりかえしみるゆめ Obsessed With Dreams」展示風景、資生堂ギャラリー、東京(撮影：加藤健)

富安 由真 影にのぞむ Yuma Tomiyasu In Presence of Shadow 2023 年 7 月 8 日(土) - 9 月 24 日(日)

原爆の丸木美術館 埼玉県東松山市下唐子 1401 TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371 MAIL info@marukigallery.jp WEBSITE https://marukigallery.jp/6665/

【開館時間】午前 9 時 - 午後 5 時 【休館日】月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)、8 月 1 日 - 15 日は無休 【入館料】一般 900 円 中高生または 18 歳未満 600 円 小学生 400 円 団体(20 名以上、チラシ持参の方、60 歳以上、比企地区在住者は 100 円割引、障害のある方は半額) 【交通】池袋駅より東武東上線 急行で約 1 時間(東松山駅・森林公園駅・つきのわ駅) 森林公園駅 南口より(約 3.5km) タクシー 約 12 分・徒歩 約 50 分 東松山駅 東口より(日祝除く) 4 番乗り場より市内循環バス「唐子コース」(日祝運休) 約 15 分「丸木美術館東」で下車し、徒歩 約 15 分 <バス時刻表> 8:45、10:10、11:10、12:10、14:30、15:35 つきのわ駅より(約 2.5km) 徒歩 約 30 分